

最終発表

2020/11/23

目次

- 1 何をするか
- 2 なぜやるか
- 3 使用する道具
- 4 具体的なシステム
- 5 スケジュール

何をするか

目覚ましの作成する

ただ、音で起こすものはありふれているので

叩き起こしてくれる目覚ましの作成をする

なぜやるか

大事な用があるけどアラームだけで起きれるか不安

課題の期限が間近なのに寝落ちしてしまいそう

そんな悩みを解決するためにやる

使用する道具

- ・ハリセン

人をたたくため

- ・ Real Sense

起こす人の位置や情報を読み取るため

具体的なシステム

1. Real Senseで顔の位置を読み込む
2. 両目が開いているかどうかを認識
3. 閉じたら叩く(叩き方を複数パターン用意)
4. 目が開くまで叩く

スケジュール

授業階数						
担当者	日付	11/23	11/30	12/7	12/14	12/21
タナポル	センサの実験 + 叩く方向決め	動作確認				最終発表
中村亮	叩くまでの動き	動作確認				
高橋祐樹	叩くパターン1	動作確認				
酒谷冬芽	叩くパターン2	動作確認				
熊谷和真	叩くパターン3	動作確認				
余裕のある人	組み合わせ			動作確認		最終発表